



初夏の三瓶山を彩るレンゲツツジ

ひいろ にいろ にんじんいろ
緋色、丹色、人蔘色。陽光を浴びる鮮やかな色には和色の名前で表したい風情があります。三瓶山の野に咲くレンゲツツジは、「大田市の花」に選ばれており、地域のシンボリックな存在です。現在では自生のものがかなり少なくなっていますが、4、50年前までは西の原や北の原の草原で多く見られました。ちょうど花の時期が学校の遠足時期に重なることから、この花の色が小学校時代の思い出に鮮やかに刻まれている人も少なくないでしょう。

三瓶山に多くのレンゲツツジがあった理由は、広い範囲が牧野として利用されたことが関係しており、オキナグサなどの草原性の植物が多いことにも共通します。放牧の牛が草の間から芽生えた若木を食べることで草原が維持されてきましたが、毒性があるレンゲツツジは牛から食べられずに残りました。そのため、草地の中に点々とこの低木が残されたのです。三瓶山の各所に植栽されており、今もこの花色を楽しむことができます。



暖かくなり、三瓶山北の原にある姫逃池でもトンボの姿が見られるようになりました。そこで春に見られる姫逃池のトンボたちを紹介しましょう。



5月の姫逃池

真っ先に池に現れるのがホソミオツネトンボです。トンボの仲間では珍しく成虫で冬越するため、春先から出現します。体長4センチほどですが体が非常に細く、水面近くの低空を飛んでいることも多いため、岸辺で目を凝らして探さないと気づきにくいトンボです。しかし、4月下旬頃から繁殖期を迎え、体色がそ

れまでの茶褐色から水色へと変わるため、飛んでいる姿が目立つようになります。

ホソミオツネトンボからやや遅れて出現するのが、クロスジギンヤンマやヨツボシトンボ、コサナエなどのトンボたちです。これらのトンボは、冬の間を池の中で幼虫であるヤゴの状態ですごします。そして、暖かくなると水から出て羽化をし成虫へと変わります。

池の周囲を歩いて水辺に生える植物を見てみましょう。いくつもヤゴの脱け殻がくっついて見つかるとは思いません。運が良ければ早朝に羽化している個体に遭遇することもあります。トンボの羽化は普通夜間に行われるため、日中に目にするのは稀です。しかし、なぜかコサナエは日中に羽化するため、天気の良い午前中に水辺を探すと羽化中の個体が見つかるかもしれません。もし、弱々しく飛翔し、翅が透明ではなくやや曇った色の個体がいればそれは羽化直後の個体でしょう。1日経てば翅も透明に変わり、活発に飛べるようになります。

姫逃池にカキツバタが咲き誇る5月下旬頃には、多くのトンボたちが賑やかに池の上を飛び交う様子が見られるようになるでしょう。



クロスジギンヤンマ



ホソミオツネトンボ



コサナエ



ヨツボシトンボ



本館1階の展示室内



触ることができる毛皮(本館1階)



クイズコーナー(本館2階)

展示が新しくなりました

この春、三瓶自然館の展示室の一部が新しくなりました。とくに本館展示室は装いが新しくなり、イメージ一新です。1階は「ふしぎの森であそぼう」、2階は「三瓶山と大地」がテーマです。それぞれの展示室には、さまざまな動物の剥製や岩石の標本などが並び、実物標本を見ることに加えて、触れたり体を動かしたりする体験をして欲しいという思いを込めた展示になっています。

この中でのおすすめは、本館1階の展示室では、身近な森や草むらに暮らす生きものたちの剥製や標本です。普段は姿を見ることが難しい生きものを間近に観

察してください。また、毛皮に触ったり、匂いを嗅いだりしながら、五感を使って楽しむことができます。動物たちの毛並みがどのように違うのか、実際に毛皮などを触ってみることで、新たな発見が生まれるかもしれません。2階の展示室は、三瓶山や島根の大地に関連した岩石がずらりと並んでいます。クイズコーナーもリニューアルしました。大画面にクイズが出題され、参加者が画面の中に映り込む仕掛けがあります。クイズの内容は、身近な生きものから天文にまで及び、体を動かしながら、自然について学ぶことができます。ぜひ、全問正解にチャレンジして下さい。

これらの展示を通じて、自然に親しみ、実際に野外での自然体験にもつながることを願っています。

新型コロナウイルス感染症への対応について

感染症への対策として、臨時閉館、展示やイベントの一部制限、中止する場合がございます。感染防止へのご理解、ご協力賜りますようお願いいたします。

なお、対応の内容は適宜ホームページでお知らせします。



江戸時代の三瓶山の風景12カ所を日本画と漢詩、和歌で表現した絵巻物「三瓶山十二勝絵巻」を展示するほか、古写真などで風景の移り変わりを振り返ります。

開催期間：6月14日(日)まで

料 金：大人600円・小中高生200円



島根県内から発見されたゾウの化石を中心に展示し、ゾウの進化と絶滅の謎に迫ります。


開催期間：7月18日(土)～9月27日(日)

料 金：大人700円・小中高生200円

6～7月のイベント

 ミニ写真展 火山からの贈り物 ～おおだの風景展～	6/28 日 まで 9:00～17:00	太古の火山が町の歴史に深く関わる大田市。町の風景とそこに秘められた自然の歴史を紹介。	定員：なし 料金：入館料	
 月イチガク③ 消えた湖・波根湖	6/13 土 14:00～15:30	潟湖として形成され、中世には石見を代表する港のひとつに数えられた波根湖の自然史を紹介します。	定員：20名 料金：入館料	要予約
 さんべの森たんけんたい 初夏の森であそぶ	6/14 日 10:00～15:00	北の原キャンプ場でキイチゴジャムとぐるぐるパン作りをします。どれだけ収穫できるかな？ 火起こしにも挑戦。	定員：親子10組 料金：大300円 小100円	要予約 幼児～小学校低学年対象 小雨決行
 中国四国の国立公園展	6/20 土 ～ 7/12 日 9:30～17:00	中国地方と四国地方の国立公園を日々見つめるレンジャーの皆さんが撮影した写真を展示。	定員：なし 料金：無料	
 サヒメルきっずサンデー	6/21 日 7/19 日 10:00～16:00	きっずプラネタリウムなど、小さなお子さま向けの楽しい1日。	定員：なし 料金：入館料	
 ASOBO スラックラインとハンモック	6/21 日 10:00～16:00	デーキャンプエリアにスラックラインとハンモックが登場！ 誰でも無料で利用できます。	定員：なし 料金：無料	6～11月（8月を除く）の 第3日曜日に開催。
 部分日食観察会	6/21 日 15:30～	太陽が月に隠される「日食」を観察します。望遠鏡を使った観察の他、安全に見られる方法なども紹介します。	定員：なし 料金：入館料	
 キャンプシネマSANBE	7/11 土 19:00～21:00	ファイヤー場を会場に、宿泊者限定の映画鑑賞会を開催。	定員：なし 料金：無料	キャンプ場の宿泊者のみ 参加可
 月イチガク④ 巨木・巨石と古代の自然観	7/11 土 14:00～15:30	荒神谷博物館の平野芳英氏をゲストに、古代の自然への意識と自然崇拜の成立についてトークショーを開催。	定員：20名 料金：入館料	要予約
 親子で作ろう工作教室 葉脈しおり作り	7/19 日 13:30～14:30	ヒイラギの葉を使って、オリジナルのしおりを作ります。	定員：子ども20名 と保護者 料金：100円	要予約
 親子で作ろう工作教室 海藻しおり作り	7/26 日 13:30～14:30	海の植物、海藻でしおりを作ります。	定員：子ども20名 と保護者 料金：100円	要予約

要予約 このマークがあるイベントは、1ヶ月前から実施する施設ごとに電話で予約を受付します。

 三瓶自然館：0854-86-0500

 三瓶小豆原埋没林公園：0854-86-9500

 三瓶山北の原キャンプ場：0854-86-0152

定期 イベント	プラネタリウム星空案内	6、7月のテーマ「どこにいるの？宇宙人」 宇宙人は本当にいるのか科学的に考えてみよう。	毎週土曜日、15:00から（夏休み期間は14:15 から）45分間
	プラネタリウム一夜話 <small>ひとがたり</small>	夕暮れから夜明けまで、その日の一夜をゆったりと 巡るひととき。	第2、第4日曜日、13:30から（40分間）
	天文ミニガイド	天体望遠鏡や天文展示の解説。晴れた日には太陽の 観察も。	毎週土、日、祝日、13:30から（約30分間）
	定期天体観察会	大型望遠鏡を使ってその時季に見られる天体を観察 します。	毎週土曜日、6月、7月は20:00～、21:00～の2回（各回約45分）
	北の原お散歩ツアー	北の原草原などで、季節の花や景色など、草原の自然 を紹介。	毎週土曜日、14:30から（約30分間）

※定期イベントは、入館者対象、予約不要です。天体観察会は大人300円、小中高生100円。（感染症対策で中止の場合があります。）

島根県立三瓶自然館サヒメル

■開館時間

9:30～17:00（4～9月の土曜日は18:00まで）

■休館日

毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は翌平日）

※年末年始、その他、メンテナンス休館あり



三瓶フィールドミュージアムニュース <隔月発行>

編集・発行 公益財団法人しまね自然と環境財団

〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8

TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501

<エコサがしまね> 〒690-0887 島根県松江市殿町8-3 TEL 0852-67-3262

しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。

エコサがしまね（松江事務所）では、地球温暖化対策等の事業を行っています。